

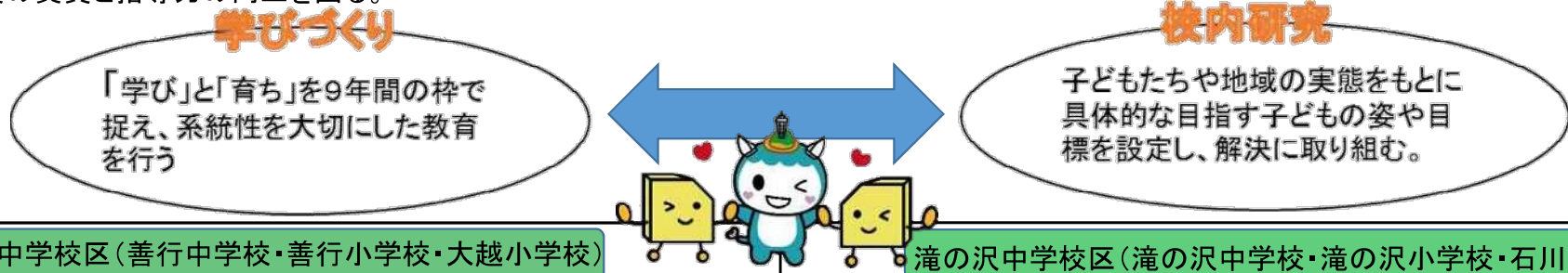
令和3年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業受託地区の取組(藤沢市)

研究テーマ

子どもたちが「ともに学び、ともに育つ場」をつくり、意欲的に学習に取り組み、知識・技能の習得と、思考力、判断力、表現力等の育成ができるよう、それぞれの学校や地域の実態に応じて学校が取り組んでいけるようすすめていく。

全国学力学習状況調査の結果から、自分の考えを書くことや説明することについて、課題が見られたため、改善に向けた工夫や取組及び小中の連携を図る必要がある。

また、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善の視点をもとに、一人ひとりの資質・能力の向上を目指すとともにキャリアステージに応じた教員の資質と指導力の向上を図る。



善行中学校区(善行中学校・善行小学校・大越小学校)

研究課題

「義務教育9年間を通した児童・生徒一人ひとりに応じた指導・支援の充実」
～自己肯定感を高めるための授業改善と学習評価についての研究～

研究内容

- ①9年間を通した指導・支援の充実
- ②自己肯定感を高める授業実践

取組事例

辻本 昭彦氏(法政大学講師)

「OPPシートによる授業改善について」

「OPPシートによる評価研究について」

「自己肯定感の獲得に向けた実践の成果と課題」



講師及び先生方等による中学校の授業参観の様子

滝の沢中学校区(滝の沢中学校・滝の沢小学校・石川小学校)

研究課題

「主体的な学び合いのために」

～意見を持つ、伝える、認め合う授業づくりを目指して～

研究内容

- ①「学びの質を高める」授業づくり
- ②小・中学校、家庭・地域との連携・協力

取組事例

白井 達夫氏(横浜国立大学非常勤講師)

「指導と評価の一体化」

西野 博之氏(フリースペースたまりば理事長)

「自己肯定感を育む授業づくり」

赤坂 雅裕氏(文教大学教授)

「豊かな心を育む道徳の授業づくり」



小学校の先生方による中学校の授業参観の様子